

かしわ もり 柏葉の杜



学校だより NO. 57
平成31年3月 1日
八頭町立八東小学校
電話71-0108 FAX71-0107

試練を乗り越えた先に、素晴らしい未来が輝いていることを信じて

校長 谷口 道行

人生には、予想だにしない現実が突然、その人に降りかかることがあります。しかし、そうした予想だにしない現実を前に、人生のそうした場面で、その人自身がどう行動するのか。そこにその人の本質が見える。その人の真の姿が見える。そんな思いをここ数日、強く感じています。そして、日々をどう生きるべきかも考えさせられています。

先日来から、その生き様や発言・発信が、日本全国の人々の心を振るわせているある女性の話。みなさん分かりますね。競泳の池江璃花子選手のことです。まだ、18歳の高校生。来春から大学生となり、更に、学業と水泳に励む予定でした。そして、みなさんの思いも同じと思いますが、2020年のオリンピックの期待の星、日本水泳界の若きリーダーです。

そんな彼女を襲った突然の病魔。「白血病」。

彼女は昨シーズンも大活躍し、昨年8月ジャカルタで開催されたアジア競技大会では、日本選手として史上初の6冠を達成しました。50m・100m自由形、50m・100mバタフライ、400mフリーリレー、400mメドレーリレーの6種目で優勝し、大会MVPに輝きました。現時点で、日本記録も個人で11個、リレー種目で7個持っています。まさに、日本水泳界の大黒柱的存在、若きリーダーです。

そんな彼女を襲った病魔。何よりもこの現実を受け入れがたいのは、池江選手本人です。しかし、彼女は気丈にもこの現実を受け入れ、自ら「白血病」であることを公表し、そして、闘病に向かうことを、自らのツイッターの中で人々に伝えたわけです。

その中で、彼女はこんな言葉を記しています。

「(前略) 私は、神様は乗り越えられない試練は与えない、自分に乗り越えられない壁はないと思っています。もちろん、私にとって競泳人生は大切なものです。ですが今は、完治を目指し、焦らず、周りの方に支えていただきながら戦っていきたいと思います。 (後略)」

「戦っていきたい」という言葉に18歳の覚悟が示されています。

「神様は乗り越えられない試練は与えない」という部分は、もとは新約聖書から来ています。

新約聖書の中の1節——コリント人への手紙第1 10章13節

「あなたがたの会った試練はみな人の知らないようなものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを耐えることのできないような試練に会わせるようなことはなさいません。むしろ、耐えることのできるように、試練とともに、脱出の道も備えてくださいます。」

きっと神様は、彼女の覚悟に対し、試練とともに脱出の道も備えて下さっていると信じています。

様々な予期せぬ事態や現実、人生の中に起こります。であるからこそ、子供たちには、今を一生懸命に生きてほしいと思います。今を全力で生きる、後悔しないように、今を一杯生きる。一日一日を一生懸命に、大切に生きてほしいと思います。「一日一生」です。

「一日一生」とは、明治時代の教育者・内村鑑三氏の言葉と言われていますが、禅宗用語とも言われ、千日回峰行をされた天台宗の大阿闍梨・酒井雄哉師の本の題名にもなっています。

「一生は、一日一日の積み重ねでしかないのだから、一日を大切に生きることが、一生を大切に生きることに繋がる。今という一瞬、一瞬を大切に生きる。そして、日々に感謝し、何げない日常に感謝し、一生懸命生きる。」本当にそう思います。

そして、今回何よりもうれしかったのは、池江選手の報道に触れ、たくさんの方が、輸血や献血をしたり、「骨髄バンク」への登録を申し入れていることです。たった一人の若い女性の発信が、日本全国に暖かい心を広げてくれていることにも感動しています。

きっと彼女にも遠からず、春が訪れるものと信じています。厳しい寒さを乗り越えた先に、暖かい、穏やかな春が来るものと信じています。がんばれ、池江璃花子選手。

さて、平成30年度も残りわずかとなりました。この1年間、統合2年目の八東小学校。素晴らしい充実した1年を終えようとしています。残り少ない日々をしっかりと子供たちとともに全力で過ごしていきたいと思います。19日は第2回目の卒業証書授与式。そして、22日は修了式です。

一年の経つのは、本当に早いものです。そして、今年の春は足早に訪れそうです。

おめでとうございます 2月 ノートチャンピオン

1年	大村	かりん
2年	内藤	大翔
3年	西山	和奏
4年	山部	瑞季
5年	飯田	愛和
6年	岡崎	彩華
6年	伊藤	大空



6年生を送る会（御案内）

下記の日程で6年生を送る会を行いますので、御案内いたします。一緒にお祝いに参加して頂ける皆様方の、御来校をお待ちしています。

記

- 1 日時 3月6日（水）
13:20～14:50
- 2 場所 八東体育文化センター
（2階 遠見山アリーナ）



新入生体験入学

先日、来年度入学する1年生を3保育所から迎え、体験入学を行いました。本年度最後の交流です。

5年生との交流では、最初「チューリップ」の歌をみんなで歌いました。その後自己紹介をして、いくつかゲームをしました。

「風船バレー」では、色別班になり、どれだけ多く風船を突くことができるか競い合いました。みんなで声を掛けながら楽しんでいました。「もうじゅうがり」でも、声を掛け合いながら仲間になっていました。みんなとても楽しそうでした。

1年生との交流では、「ようこそ 新1年生の会」をしようと題して、年長児を1年生教室に招き学習を行いました。1年生は、お兄さん・お姉さん気分でもとても張り切っていました。年長さんは、少し緊張気味に言われるとおり動くのが精一杯という感じでした。

子供たちは、園児に楽しんでもらえるように、この日のために多くの準備をしてきました。いろいろな経験を通して、思いやりの心を育んだり自分の成長に気づいたりすることができたことと思います。園児は、学校生活への不安も少なからず取れ、夢や希望を持ってくれたことと思います。

みんなで、入学の日を楽しみにしています。